

平成 26 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--|
| 事業名 | やまこの学校 |
| 事業主体 (連絡先) | やまこの学校 〒399-8303 長野県安曇野市穂高 5971 番 1 号 |
| 事業区分 | ③ 教育及び文化の振興に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 1,065,282 円 (うち支援金 : 798,000 円) |

事業内容

1 連続講座開催

座学から始まり、卵を飼育林に付けてから飼育、管理、繭の収穫、作品の制作まで総合的に学習・体験し、天蚕への理解を深めた。今年は成虫の羽化観察、糸取り体験など興味深い体験も実施した。

4月～11月 計14回開催 378名参加

2 出前講座

国営アルプスあづみの公園、図書館、学校に出前し、市民や小学生などに天蚕を周知

4月～11月 計11回 199名参加

3 天蚕飼育林の整備

天蚕林整備を随時実施 (4月～12月)

4 伝統的な機材・道具の保全、伝統技術の映像記録制作 かせあげ機、座繰り機などの収集、修復。高齢の伝統技術保持者の映像収録



【天蚕飼育林・飼育体験】

【目標・ねらい】

- ① 天蚕の知識を得る (座学)
- ② 天蚕に親しむ (飼育体験)
- ③ 繭から製品を作る (制作体験)
- ④ 広く一般に周知する (広報)
- ⑤ 里山を整備して環境を整備する (飼育林の保全)
- ⑥ 伝統的な機材・道具、伝統技術の伝承

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①～③連続講座参加者のアンケートで 29%の参加者から「ぜひまた参加したい」残り 71%からは「都合が付けばまた参加したい」という高い評価を得た。

④新聞などで取り上げられ、参加者のみならず広く一般に天蚕の周知を図ることができた。

学校関係でも天蚕ワークショップなどを取り入れる動きがでている。先方からの申し込みでの出前講座が増えた。

⑤飼育林の整備が進んだ。

⑥伝統的な機材・道具の保全が進み、伝統技術の伝承への協力者が増えた。

※自己評価 【 A 】

【理由】連続講座・出前講座をより充実した内容で実施し、参加者の満足度も高かった。新聞掲載により広く天蚕を周知・広報することができた。また、協力者が増え、活動が広まった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・天蚕飼育農家希望者に、各種指導をおこない、後継者を育成する。
- ・天蚕関係者のうち高齢の方の記録 VTR を制作、貴重な歴史や体験を後世に継承する。
- ・天蚕に関する書籍発行をめざし、天蚕飼育方法を記録、資料を収集し、写真撮影などを進める。